

那須の歴史
再発見!

那須町と 近現代の人々

vol.38



福山博 (1914-1981)

2月号は、兵庫県出身で、大谷で開拓診療所、保育所所長などを歴任し、戦後開拓地の医療・教育に貢献した福山博を紹介します。

福山は、大正3年11月18日に兵庫県姫路市に生まれ、家は5代続く医者の家系で、昭和15年に日本大学医学部を卒業後、当時の満州国に渡りました。

福山は満州に渡ると、平陽義勇隊開拓団病院長として診療にあたりました(平陽は現在の中華人民共和国黒竜江省ハルビン市)。終戦時には、ハルビンの難民収容所内診療所で7,000人の開拓民を受け持ち、診察を行いました。自身も伝染病に感染したこともあったといいます。このとき山形県大谷村(現山形県朝日町)出身で分村移民として満蒙開拓にあたった「阿

城大谷開拓団」の一員と知り合いました。この「阿城大谷開拓団」は引揚後、昭和21年12月に先遣隊が那須村に入植しましたが、この入植直後に福山も医療器具を整え入植し、診療所を開設しました。翌年からは大谷開拓農業協同組合診療所となり、昭和26年からは組合運営から福山の個人経営にシフトしながらも大谷地区や近隣地区の巡回診療や、月一回の定期健康診断を実施するなど、病気の発見・予防対策など現代に通ずる医療活動に力を注ぎました。これら長年の地道な医療活動が認められ、昭和46年には第23回保健文化賞を受賞しています。

また、福山は教育にも力を注ぎました。昭和22年、大谷では農村託児所を2カ所設置していましたが、昭和27年から町立大谷保育所(初の町立保育所)に改まりました。そこで福山は主任、後に所長として勤務しました。福山は町予算でマイクロボスを購入すると自らハンドドルを握り、運転手として保育所や大沢小学校に通う幼児・児童の送迎

を行っていました。福山は那須の開拓地の医療・教育に人生を捧げました。彼の想いの詰まった、旧大谷保育園や旧大沢小学校がその精神を受け継ぎ、活用されることを願います。

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007



大谷開拓農業協同組合診療所

かつこう

今から2年半前の令和4年8月、広報那須にて「那須高校タイム」の連載が始まりました。那須高等学校での生徒の様子や学校の取り組みについて、生徒と那須高校魅力化コーディネーター(※)が協力して作成しています▼ここで紹介されている取り組みの一つに「那須まち人物図鑑」の制作があります。那須地域で活躍してい

るさまざまな人に生徒自らがインタビューし、内容をまとめた冊子で、第3弾まで発行されています。この冊子を作り上げるために、どんな人に話を聞きたいか、その人は何の仕事をしていて、どの様な思いを持っているのかということなどを調べ、本人から聞きとり、またそれを、文章にし、まとめるということを生徒とコーディネーターが試行錯誤して作り上げています。次はどんな人が登場するのだろうかとうワクワクしてページをめく

るような一冊になっていると感じます▼那須高等学校は、町内唯一の県立高校です。これからも、この高校で学ぶ生徒が地域へ飛び出し、地域と関わっていくことが生徒たちの成長の一助となり、そして、自分たちが過ごした地域への愛着につながっていくことを願っています▼(※) 学校と地域を結ぶ橋渡し役。地域で活躍できる人材の育成や、学校の魅力向上に対しアドバイスとコーディネートをを行う。現在2人が活躍中。

こんにちは

赤ちゃん



令和5年7月生まれ

かたおか

かなた

片岡 叶向くん

かなたくんは...

おそとで遊ぶの好きだっぺ!



「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。

町の世帯と人口

(1月6日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

・世帯数	10,841世帯 (+ 15)	出生	11人 (+ 4)
・人口	23,697人 (- 7)	死亡	39人 (+ 13)
	男 11,830人 (- 2)	転入	79人 (- 7)
	女 11,867人 (- 5)	転出	59人 (- 13)
		その他	1人増

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます

